

2019年 沖縄週間／沖縄の旅  
参加のご案内  
6月21日（金）～24日（月）

ぬ ち た か ら

# 命どう宝～神の愛に生きる～

空の鳥をよく見なさい。 マタイ6：26

毎年、沖縄週間の期間に沖縄に思いを馳せてお祈りくださり感謝いたします。

今年は、日本聖公会総会の決議によって沖縄週間/沖縄の旅が始まって25回目です。1988年の第1回目の正義と平和協議会での旅から31年目となり、感慨深い気持ちになります。また、いつまで沖縄の旅を続けていくのだろうか、という思いもあります。これまでに、延べ何人の方がこの旅に参加してくださったのでしょうか。多くの方々が、参加してくださったことを有難く思います。

戦後74年たった今でも、沖縄では米軍の基地や自衛隊の基地をめぐっていろいろな出来事があります。今年（2019年）2月には、「普天間飛行場の代替施設として国が名護市辺野古に計画している米軍基地建設のための埋め立てに対する賛否についての県民投票」が行われました。結果は投票率52.48%、辺野古の埋め立てに反対が7割を超えました。有権者全体の数から、反対の数を見ますと、37.64%になります。この数字も、見方や立場によってご意見があると思います。どうぞ、沖縄に来てください、意見の交換ができればと思います。多くの方に参加いただき、ご自分の思いや、考えを持って、また持たずにいらしても、自由に話せる場になるようにこの旅を皆でつくっていければと思います。

沖縄週間のテーマは「命どう宝～神の愛に生きる～」がテーマ、聖書箇所は「空の鳥をよく見なさい」（マタイ6章26節）です。イエス様は、思い煩うなと言われます。何を食べようか。何を飲もうか。命のことで…そうです。私たちはそのことに日夜明け暮れているといえます。「空の鳥をよく見なさい」神の豊かな世界を自由に旅する鳥。神の創造されたものとして「刈ることも、倉に納めもしない」神の愛に生きているものの象徴です。神様から与えられたもので生きているのです。

「命のことで思い煩うな」というイエス様の言葉と、「命どう宝」についても話そうではありませんか。また、もし私たちに翼があって、鳥のように自由に空を飛ぼうとしても自由に空が飛べないことが、今回のプログラムで学ぶことの一つです。

沖縄の旅を通して、沖縄と出会い、人と出会い、神様と出会う旅であることを願います。そして、皆さまの近くにある、オキナワに気がついていただければと思います。その時、沖縄に今ある問題が、皆さまの近くにあるオキナワの問題が解決できる力となって動き出すことを信じます。沖縄に住む私たちも、ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ、・・・についての問題に出会っていく旅の途中であることも、忘れてはいないことをお伝えしたいと思います。沖縄の旅にご一緒できることをお待ちしています。ご参加ください。

(日本聖公会沖縄教区 司祭 グロリア西平妙子)

※2018年の日本聖公会第64（定期）総会にて、『「沖縄週間」継続の件』が可決されました。 「2019年から2022年までの毎年、沖縄慰霊の日（6月23日）を含む1週間を「沖縄週間」とし、沖縄の宣教課題を具体的に共有する祈りやポスターなどを作成して全国の諸教会で用いる。」と定め、日本聖公会の全教区・教会が沖縄の現実に思いを寄せ主の平和を求めて祈るよう、兄弟姉妹に呼び掛けます。

沖縄教区と日本聖公会正義と平和委員会は、今年もこの週間にあわせ沖縄の歴史と現在を学ぶ旅を企画し、全国の皆さんをお誘いします。多くの方々とともに沖縄の地に身を置き、学びと祈りを深めたいと思います。ご参加をお待ちしています。

### 沖縄週間の祈り

歴史と生命の主である神よ、わたしたちを平和の器にしてください。

嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、

敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。

私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中にいやしを、

疑いの中にあなたへの信仰を、主よ、豊かに注ぎ込んでください。

この沖縄週間を通してわたしたちを新たにし、

あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。

わたしたちの主イエス・キリストのいつくしみによって、

このお祈りをお獻げいたします。 アーメン

主催 日本聖公会 沖縄教区

日本聖公会 正義と平和委員会

## 参加のしおり

### \* 航空券手配について \*

3日目の6月23日（日）の宿泊と共に、市販の「ホテルパック」で手配されることをお勧めします（航空券とホテルを別に予約するよりも安く購入できます）。各地発および帰りの沖縄発の時間はプログラムに支障のないようご設定ください。

### \* 宿泊について \*

- ・ 1日目 21日の宿泊は当方手配のホテル（CLASS INN 与儀）です。
- ・ 2日目 22日の宿泊は基本的に当方で手配します（各教会へ分宿）。
- ・ 3日目 23日の宿泊は、ホテルパックのホテルです。各自で三原聖ペテロ聖パウロ教会に近いホテルをご予約ください。（費用を抑えたい方は、教会への宿泊も手配できます。ご相談ください）。

### \* 費用（概算） \*

- ・ 21日宿泊費 ホテル 6,500円（朝食込）
- ・ 22日宿泊費 教会分宿 3,000円
- ・ 23日宿泊 ホテルパック 各自
- ・ プログラム参加費 6,500円  
(※精算の上、追加徴収があるかもしれません。)
- ・ 食事代（21日夕・22日昼・23日夕・24日昼）  
3,000円程度

合計金額 各地からのホテルパック + 19,000円程度

### \* 集合時間・場所 \*

12時30分に 那覇空港1階「到着口B」付近へ各自昼食を済ませてお集まりください。  
スタッフがお待ちしています。

\* 定員 \* 35名（沖縄教区以外の方）

\* 締め切り \* 5月 6日（月）

\* 申込先 \*

〒162-0805 新宿区矢来町65番地 日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会 宛  
電話 03(5228)3171 Fax.03(5228)3175

### \* スタッフ \*

・ 日本聖公会 沖縄教区

主教上原榮正、司祭岩佐直人、執事上原成和、司祭金 汀洙、富本盛彦、並里 厚、  
司祭並里輝枝、司祭西平妙子

・ 日本聖公会 正義と平和委員会・沖縄プロジェクト

司祭小林祐二、司祭柴本孝夫、司祭長田吉史

# 2019年 沖縄週間／沖縄の旅 プログラム

6月21日（金）～24日（月）

今回は、テーマ「命どう宝～神の愛に生きる～」のもと企画しています。以下トピックをお知らせします。

- 21日（金）： 那覇空港に集合しフィールドトリップ①（嘉手納基地及び周辺の見学）。夕方、三原聖ペテロ聖パウロ教会へ。受付・オリエンテーション、夕食の後、前泊博盛氏講演会（仮題「沖縄。今、何が起きているのか」）。就寝前の祈りの後、当方手配のホテル（CLASS INN 与儀）泊。
- 22日（土）： 各自朝食。バスでフィールドトリップ②（午前中－普天間基地とその周辺の見学。午後－辺野古）へ。夕方から沖縄教区内の諸教会に分かれて過ごします（分宿）。
- 23日（日）： 分宿先教会で主日礼拝・愛餐会に参加。午後は北谷諸魂教会での沖縄教区「慰靈の日」礼拝・プログラムに参加。夕方三原聖ペテロ聖パウロ教会へ。夕食交流会。各自手配のホテル泊。
- 24日（月）： ホテルで朝食を済ませ、三原聖ペテロ聖パウロ教会集合。分かち合いと閉会礼拝。昼食後解散。三原聖ペテロ聖パウロ教会から那覇空港まではモノレール（ゆいレール）のご利用を。最寄り駅は「安里駅」。教会から徒歩約10分、約20分乗車で那覇空港駅着です。

日時＼	1日目 6月21日(金)	2日目 22日(土)	3日目 23日(日)	4日目 24日(月)
8:00 :30		朝 食 ホテルにて	朝 食 各教会にて	朝 食 ホテルにて
9:00 :30		フィールドトリップ② (車中で朝の祈り)		三原教会集合 分かち合い
10:00 :30		・普天間基地周辺見学	各教会の礼拝に出席	
11:00 :30				閉会礼拝
12:00 :30	那覇空港集合、受付	昼 食	昼 食(各教会)	昼 食(弁当)
13:00 :30	フィールドトリップ① (車中で開会の祈り)			解 散
14:00 :30	・道の駅かでな	・辺野古へ	北谷諸魂教会へ	
15:00 :30	・嘉手納基地周辺見学		沖縄教区 「慰靈の日」礼拝	
16:00 :30	三原教会着			
17:00 :30	オリエンテーション 夕 食(弁当)	各分宿教会へ移動		
18:00 :30	前泊博盛氏講演会 「沖縄。今、何が起きているのか」		三原教会へ移動 夕食・懇親会	
19:00 :30				
20:00 :30	就寝前の祈り・アナウンス ホテルへ移動、就寝		就寝前の祈り・アナウンス ホテルへ移動、就寝	
21:00				
宿泊	当方手配のホテル	各教会	各自手配のホテル	

※プログラム内容は、諸事情により変更される場合があります。